

ヘッダーフッター機能と透かしの活用

- ヘッダーフッターはファイルに予めページ番号や、ファイル名ビジネス文書では企業名やロゴなど表示して利用されます。

透かしは社外機密、コピー防止などに利用されているのを目にしていることと思います。

この機能を利用すると、画像を気にしないで本文に自由に書き込むことができます。

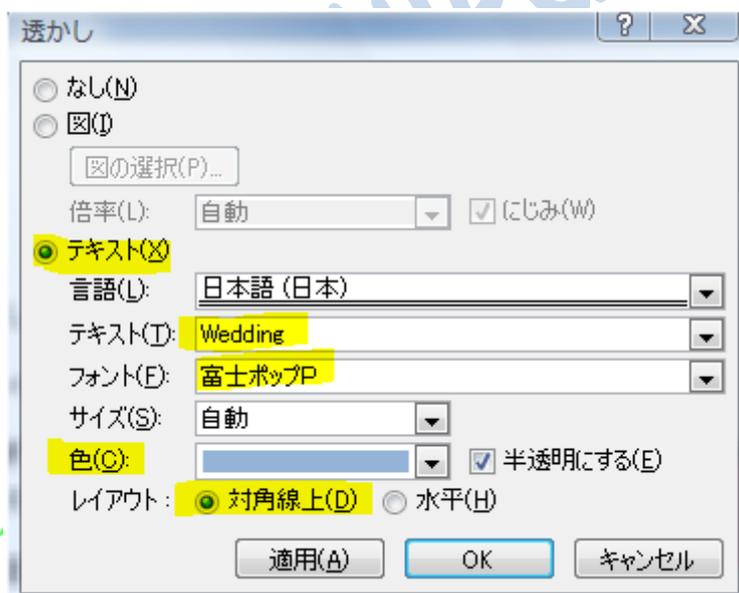
まず、ヘッダーの編集を利用して余白にイラストを挿入します。

- ヘッダーフッターの表示は挿りボンの入メニューにあります。余白部分をダブルクリックしても表示されます。
- 元へ戻すには本文を同じようにダブルクリックします。
- 教室ではメニューからの作業を優先します。
- ヘッダーの編集状態にして、カーソルが余白に点滅していることを確認します。
- リボンの挿入からクリップアートの挿入をします。
- 検索欄が表示されますからテキスト欄に「罫線 花」と入力して検索します。
- 検索条件は全てにチェックを入れて検索します。
- イラストはツインの鐘「モチーフリボン結婚式罫線」と「バラ植物罫線」を挿入します。
- イラストを選択して全てリボンの書式メニュー・「文字列の折り返し」を背面にします。
- ツインの鐘は Ctrl キーを使って複製を作成し、左余白にドラッグ、大きさを整えます。
- 「ツインの鐘」余白上部のイラストを適宜の大きさにしたら、選択して現れる書式メニュー・配置グループ・配置に左右中央があるので中央に、左余白のイラストは同じく、上下中央にします。
- 又、「バラ植物罫線」は本文に合わせて広げ、鐘と同じ作業で、左右中央と上下中央を選択してレイアウトを整えます。

- ツインの鐘は書式メニュー・調整グループでコントラスト+30 に、バラ植物罫線は明るさを+30 にして本文を妨げない濃さにします。
- 完成したら、ヘッダーデザインに「ヘッダーを閉じる」が有りますから閉じます。
- 画像の選択枠が表示されないので本文に自由に文字が書けるようになりました。

次に、透かしを入れてみましょう。

- ✚ 透かしは、ページレイアウトに有ります。
- ✚ 透かしを選択すると、予め用意された「緊急」や「至急」などが有りますが、オリジナルの文字列でも作成できます。
- ✚ ユーザー設定の透かしをクリックします。
- ✚ 透かしには画像とテキストの二つが選択できるようになっています。
- ✚ この度はテキストで行ってみましょう。



- ✚ マーク部分がオリジナル編集です。
- ✚ さて、大きな透かし が一つ入りました。
- ✚ この文字の編集は、ヘッダーで行います。
- ✚ ヘッダー機能を表示し、オリジナル文字をクリックします。

- ✦ 編集可能な状態になりますので、大きさや書体を変えたり、複製をすることもできます。

お気づきでしょうか？

- ✦ 透かしはヘッダーに組み込まれたワードアートなのですね。
- ✦ ですから、ヘッダーで操作するのに、挿入したい時は挿入では無く、ページレイアウトからの操作で書式を編集することになります。

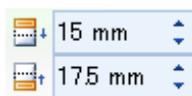
では、実際に行ってみましょう。

- ✦ 透かしの文字をクリックすると編集するための書式はワード-アートツールですね。

如何でしょうか、春らしく結婚式のモチーフを使ってサンプルを作ってみました。

補 足

ヘッダーの標準表示は右のサイズで表示されます



ヘッダーは用紙の端から文字の上部までの位置

フッターは用紙の端から文字の脚部までの位置になります。

余白の調整はツールにもありますが、簡単な文書では手動でも操作が出来ます。

場所はヘッダーの編集状態で現れるルーラー部分にマウスをポイントすると説明表示が出ますので、ドラッグして移動します。

余白を狭くしても、ヘッダーの距離には影響されません、これらは独立したものとして組み込まれたものです。